

**【教員氏名】**

野尻 亘

**【単位数】**

2 単位

**【演習概要】**

「世界市民」はキリスト教の歴史と現在（建学の理念）、人類の歴史が確立した人権の普遍性と、グローバルな視野について考察する科目である。今日の世界は全地球規模で一体化している。そのことをふまえて、平和的・民主的な世界が実現するために、人類が直面する課題について考察し、これからの世界の日本のあり方、すなわち世界の人々が協同して共存をはかる持続可能な社会の実現について考える。

**【学習目標】**

建学の精神をふまえて、グローバルな社会にこれから生きる学生自身の将来の在り方として、過剰で低俗な情報が氾濫する現代社会のなかで、内なる世界におけるオタクやマニアとしてではなく、学生自身が社会性をもって、主体的に自分の進路や生き方を定めることができるような学生自身の「生きる力」を養成する。

**【講義計画】**

- 第 1 回：グローバリゼーションの時代に主体的に生き抜く大学生としての生き方
- 第 2 回：現代世界を認識する新しい知の方法  
アナール学派・世界システム理論・レギュラシオン理論
- 第 3 回：地球の起源
- 第 4 回：最初の生命と進化の歴史
- 第 5 回：地球環境問題と人類史
- 第 6 回：DNA と人類・人権
- 第 7 回：大航海時代における世界の一体化と宗教文化
- 第 8 回：ザビエルの日本渡航とその後のキリスト教
- 第 9 回：カトリックとプロテスタント：近代西欧社会の形成
- 第 10 回：桃山学院をはじめとするキリスト教私立学校の使命と役割
- 第 11 回：大都市シカゴにおける民族問題
- 第 12 回：世界の大都市におけるインナーシテイ問題
- 第 13 回：アフリカにおける飢餓と食糧問題
- 第 14 回：ケインズ福祉国家からシュンペーター労働福祉国家へ
- 第 15 回：就職・進路をどのように考えるか

**【成績評価の方法】**

試験評価：70% レポート：15% 出席：15%  
毎時間、授業内容についてレポートを課して、出席もカウントします。授業内容を理解して書いていない学生は出席をカウントしません。

**【参考文献】**

丸山茂徳・磯崎行雄『生命と地球の歴史』岩波新書 543, 1998 年.  
松本清張『砂の器』新潮文庫ほか  
羽田正『新しい世界史へ 地球市民のための構想』岩波新書 1339, 2011 年.  
柄谷行人『世界共和国へ 資本・ネーション・国家を超えて』岩波新書 1001, 2006 年.  
見田宗介『現代社会の理論 情報化・消費化社会の現在と未来』岩波新書 465, 1996 年.

**【準備学習の指示】**

指示した参考文献について、図書館等を利用して一読しておくこと。文庫本や新書本に親しんで、読み解く力量を身につけてください。